

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生理学Ⅱ・筋		津畑 修		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(6)	教室	前期	水曜日	3限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	骨格筋、横紋筋、筋収縮				
到達目標	<p>正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。</p> <p>全身の骨格筋の名称と収縮・伸展時の体の動き、筋収縮の仕組みについて理解する。</p>				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第7章 身体の支持と運動（C、D～Gの筋、H） 1. 筋 総論 骨格筋の構造、作用、神経支配 体幹の筋、上肢の筋、下肢の筋、頭頸部の筋
2	2. 筋の収縮 骨格筋の収縮機構、骨格筋収縮の種類と特性、不随意筋の収縮と特性
3	3. 関節運動等 関節の種類と運動（伸展・収縮・内転・外転・回旋等）
4	終講試験
履修上の要件	特になし 運動器の疾患については疾病と治療Ⅱで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 運動器、呼吸器とあわせて解剖生理学Ⅱの単位とする。
備考	